

東京の知り合いから秋田の雨が気になる
とメールがきたので、メールで藤里町の
状況を確認したのですが、その時点で
はあまり大した状況ではないということ
で、一安心して研修を続行です。
正午過ぎに台中駅に戻り構内を自由行
動とした後、午後1時過ぎの新幹線車中



深農合作農場

立されたもので、規模の小さい農家約1
42戸が加盟し、ブドウやナシを主体に
栽培をしているとのこと。どこも同
じように農協からはあまり良くは思われ
ていないようですが、対外的には輸出主
体ということ、住み分けはされている
ということでした。
1996年10月より輸出をスタートさ
せ、マンゴーは契約栽培。日本への輸出
が一番基準が厳しいとのこと、日本へ
は、ブドウは低温処理、マンゴー、ライ
チ、ドラゴンフルーツなどは燻蒸処理し
て輸出しているということでした。
現場の袋詰め作業の状況も見学させて
もらいましたが、国内販売用の作業のた
めか、あまり衛生的とは思えないような
作業風景でした。

でハンバーガーに紅茶の昼食をとり、左
營駅（高雄）に午後2時に到着。バスに
乗り換えて午後3時に次の視察先である
行政院農業委員会高雄区農業改良場に到
着しました。
この農業改良場は、1903年に設立
され、最初の場長は日本人だったとのこ
とです。ここでは、熱帯の農作物の研究
を主体としており、あらゆる改良も手掛
け、米づくりはもちろんのこと枝豆の栽
培も盛んに行われているとのこと。
その他、農民たちの教育トレーニングも
実施しているとのことでした。
場長によると、本来であれば日本交流
協会（ほかの諸国であれば「大使館」）
経由でなければ視察は受け入れないとの
ことでしたが、今回は訪問の前日に来訪
の話を伺ったことにも関わらず、歓
迎するというので温かく受け入れてい
ただきました。
施設内を案内してもらいましたが、日
本における農業&果樹試験場と農業改良
普及所が一体となったような組織でした。



高雄区農業改良場

高雄市内に戻り、2日間お世話になる

「ハワードプラザホテルカオシヨン」に
到着し、チェックイン後に海鮮料理レス
トランで夕食をとり、少々疲れがたまっ
てきたのか、早めの就寝となりました。
◇8月23日（土）
この日は予定した視察先はなく、台湾
第二の都市の高雄周辺の見学をしました。
ホテル出発を午前9時としていて、その
少し前に広域の消防長より電話があつた
ので、出てみましたが通話ができず、ど
うしても気になったものから、随行
事務局の電話を借りて消防長に確認した
ところ、前日から当町に大雨の心配があつ
たため、その後被害がなかった等の経過
について報告しようとした、ということ
がわかり、ここでも一安心でした。
午前10時には台南市にある「延平郡大
王祠」、「孔子廟」、「赤崁樓」を足早に見
学し、高雄までの高速道路では、戦闘機
が離着陸できる仕様のところの説明を受
けました。台北から高雄までの間に、こ
のような仕様の場所が5か所あるとのこ
とで、当然その場所は直線になっていま
した。
飲茶料理の昼食をとり、午後2時から
は、高雄市歴史博物館の見学後、高雄市
民の憩いの湖蓮池潭で休憩し、最後は土
産屋で締めくくりました。
早めにホテルに戻りトランクの整理を
して、夕食は海鮮料理を堪能させていた
できました。最後の夜なので、ホテル周
辺だけでも散策しようと、30分程度歩い
てみたのですが、一番驚いたのが、生ゴ
ミの異臭があまりしないことです。ちょ

うど午後9時前後にゴミ収集車が活動し
ている場面を発見し、最初に来たときに
疑問に思っていた、カラスの姿がまった
く見えないことに納得できました。要は
カラスの餌となるものがまったく出てい
なかつたのです。これは日本でも是非見
習うべきだ！と強く感じて、最終日の日
程を終了しました。
◇8月24日（日）
帰路につく日です。午前8時にバスで
ホテルを出発し、左營（高雄）駅へ。途
中台中駅しか停まらない新幹線で台北駅
へ。午前10時半に台北駅に着いてからバ
スに乗り換えて台北（松山）空港へ。午
後1時30分の羽田行きは機内食が出るの
ですが、ここはやはり牛肉麵が食べた
くて注文し、残った台湾元を全部と不足分
を日本円で支払っても良いとのこと、
ここはどうしても家を守っている伴侶に、
少しでも良いところを見せようとお土産
を奮発したのです。
今回の研修で得たことについては、1
自治体のみでは市場開拓は難しいと感じ
ていまして、機会があれば複数の自治体
で双方向での人の往来や物流等について
研究していきたいと考えています。この
ような機会を与えていただいたことに心
から感謝を申し上げ、以上でこの度の視
察研修の報告とさせていただきます。あ
りがとうございました。



(完)